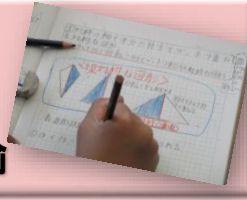


# 『主体的・対話的で深い学び』を実現するための実践研究事業」授業研究会レポート No.1

## 安芸市立安芸第一小学校 授業研究会

平成30年4月13日（金）

算数科 第6学年「対称な図形」 今橋 周平 教諭



授業改善を確かな形にするために、新たな学び場がスタートしました。本授業研究会は、これからの「高知の授業づくり改革」に向けて、こういった視点が大切なのかを参加者と共有し、明日からの授業づくりの方向性を確認するとともに、主体的・対話的で深い学びの実現に向け、授業の質を高めることを目的としています。

### 本時の目標

図形を弁別した結果を、対称性という観点から共通点や相違点を探ることで、線対称・点対称な図形について知り、既習の図形を捉え直すことができる。

### 授業の視点

\*対称の視点から、既習の捉え直しができるか。



### 最終板書

① 動かしかたに着目し、特徴を見つけよう。  
② 合同な2つの三角形でどんな図形ができる? ⇒ どんな特徴がある? (見) 動かしかた。  
③ 3種類? ... (6種類)  
同じ長さの辺(折れ折れ)をいれる。  
オレンジ色  
回転  
折れたら、  
ひたひたと  
回転させると  
ひたひと重なる!  
対称の軸  
対称の中心  
新しい仲間に分かれる。  
長方形は分ける  
ところによって、  
線対称にかわる。  
チャ

### ここがポイント!

子供たちは、既習経験の中で、平行四辺形を分割して、どんな図形ができるのかという「見方」をしてきています。本時はその逆で、2つを組み合わせることによって、平行四辺形ができるということをやっています。ここで大切なことは、子供たちの操作活動によって、それがどのような位置関係になっているのかということを確認していくことです。つまり、今まで子供たちが学習してきた基本図形を、より多面的・多角的に新しい視点から見つめるといふ数学として大切な「見方」ができるようになったということをおさえることがポイントになります。

## 協議の視点

- \*めあてまでのプロセス（思考対象の妥当性・明確化）について
- \*ゴールの吟味（「まとめ」で扱うべきこと、「ゴール」からみたプロセスの妥当性）について

### 授業リフレクション

#### いかに数学的活動を組織化するか

授業リフレクションでは、「めあて」を提示したときに、子供たちの思考が止まってしまう先に進まなかったことが課題の一つとなりました。参加者からは、「子供たちは、『めあて』を提示されても、何を聞かれているのかが分からなかったのではないか。」「“問い”を意識するまでの操作活動は十分であったのか。」「『動かし方に注目して』という意味が曖昧であったのではないか。子供たちが気付いた図形の動かし方について、丁寧に整理していくことが必要であったのではないか。」などの意見が出されました。

「めあて」までの仕掛けが丁寧であっても、「めあて」設定後に子供の思考が進まなければ、問題解決のプロセス



を見直す必要があります。つまり、数学的活動をいかに組織化するかが、これからの授業づくりのポイントの一つであることを確認しました。

#### “子供ファースト”の授業づくりへ

新学習指導要領では、全ての学校が、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業をしていくことが求められています。そのためには、各教科における「見方・考え方」をしっかりと働かせることが



大切です。また、全ての教科において資質・能力ベースの授業づくりが期待されています。教科によって偏りがあるのではなく、子供の側に立って、全ての教科が同じスタンスで授業づくりを行う、“子供ファースト”で授業設計を行っていくことの必要性が求められています。



### 提案授業から見えてきたこと

本時でおさえたいことを意識するあまり、自然な授業展開にならず、教師主導になってしまいました。育てたい資質・能力や単元（または本時）のゴールとする子供の姿をはっきりとしたイメージをもって、授業をつくっていくことが大切だと感じました。



今橋 周平 教諭

### 参加者の声

- 既習事項から切り込むことで、子供の思考が系統的に流れることを学びました。
- ゴールイメージを明確にもち、プロセスを考えていかないといけないと思いました。
- 教材研究の大切さを痛感しました。
- 学年のつながりや小中9年間のつながりをしっかりとつかんだうえで、授業づくりをするこの大切さを学びました。
- 「子供の経験をくすぐる問い」のよさを実感しました。
- これまでは本時の活動内容だけに目を向けることが多かったですが、単元全体をデザインしている実践をみることで、今後の自分の実践に生かしていきたいです。

子供の期待に応える学びをともに作りませんか

check!

次回 平成 30 年 5 月 10 日 (木) 教材研究会 15:15 から 3 年「ぼうグラフと表」